

# Getzner Werkstoffe が日立と独占供給契約締結 防振専門メーカーが浮床用弾性軸受を供給

日立製作所は英国運輸省の「都市間高速鉄道計画（IEP：Intercity Express Programme）」の一環として Getzner Werkstoffe を鉄道車両用フローティング・フロアの独占サプライヤーに指定した。2018年まで、同計画で製造されるすべての鉄道車両に振動絶縁フローティング・フロアが搭載される。この契約は Getzner Werkstoffe にとって同種プロジェクトの中でも過去最大規模の案件となる。

「都市間高速計画」では、英国運輸省が新規の高速鉄道車両に投資を行う。

Getzner Werkstoffeは2018年末まで、新規の鉄道車両すべてに振動抑制フローティング・フロアを搭載する契約を獲得した。発注者の日立物流は日立グループの一員である。

Getznerのプロジェクト・マネジャーLukas Tschann氏は「当社材料の性能は極めて高く、また、車両装備に豊富な経験がある。さらに、当社のソリューションは最高のコストパフォーマンスを発揮する。こうした理由から当社は契約を獲得できた。当社の大きな強みは、この部門では当社が国際的な問い合わせを受けていること、また、当社材料の高い効果と耐久性が外部評価で証明されていることにある。」と指摘している。4年間の独占契約ではGetznerが独自に開発・製造する材料を供給、契約金額は約100万€に上る。この契約はフローティング・フロア（floating floors）に Sylomer®FR材料を使うもので、Getznerにとって設立以来最大のプロジェクトの一つとなる。

日立レールヨーロッパ社の調達担当部長Jamie Foster氏は「日立の新たなClass 800シリーズ鉄道車両のフローリング・システムは乗客の体感だけでなく安全性要件においても重要な分野だ。当社がフローリング・システムの一部で Getznerと長期的に協力できることに満足している。Getznerは顧客要求に合わせて材料を製造する能力をもって

いる。同社の高品質製品は当社が車体製造で適用する基準を完全に満たしている。」と語った。

## ●快適性がポイント

Getzner Werkstoffeの子会社・日本法人である日本ゲッツナー株式会社技術営業部長、奥直紀氏は「振動絶縁フロアの客車は従来の車両よりもはるかに静かです」と述べる。これは鉄道会社と乗客の双方に恩恵をもたらす。鉄道会社にとっては快適性の改善で乗車率の向上が期待でき、快適性が高いほど、高い料金設定が可能になる。

鉄道インフラのみならず車両床にも弾性軸受を使うことが好ましい理由は他にもある。特に長距離の高速ネットワークでは、鉄道は航空機と直接競合する。

奥直紀氏は「移動時間の短縮と定時性に加え、高い快適性が得られれば旅行者は鉄道を選ぶ傾向があることは、経験から分かっている。」と語っている。

## ●弾性軸受がノイズ・レベルと摩耗を低減

「当社のハイテク・エラストマー（ゴム状の弾性を持つポリマー）は製作上の高さは小さいが、極めて効果が高く、英国運輸省が規定する客車内のノイズ・レベル基準を満たすことができる。エラストマーは振動が内装品、構造体、電子部品に伝わるのを最小限に抑えると同時に、ノイズと摩耗を減らすことができる。また、メンテナンス・コストも削減されるが、この点は鉄道車両メーカーと鉄道会社にとって重要なセールスポイントになる。

日本ゲッツナー社の代表取締役社長、ウィンフリード・リースによれば「車両床中の弾性振動絶縁軸受はGetznerの最新の防火材料であるSylomer®FRで作られる。これはDIN 45545-2車両防火基準の要求事項を満たしている。振動絶縁ソリューションは鉄道や建設だけでなく、産業用機械その他の技術機器にも使われている

都市間高速鉄道計画（IEP） 鉄道車両用フローティング・フロア仕様

|         |  |
|---------|--|
| クライアント  | 日立物流   |
| 運行主体    | 運輸省／イースト・コースト本線およびグレート・ウェスタン本線                                 |
| 実施期間    | 2014年 2018年  |
| 範囲      | Sylomer®FR 弾性ストリップの供給および設計に約100万€<br>(EN DIN 45545-2車両防火基準に準拠) |
| ソリューション | 長距離鉄道車両用の弾性フローティング・フロア   |
| 効果      | ノイズ・レベル、衝撃、および振動の低減、<br>ならびに摩耗および費用の削減                         |
| 用途      | 鉄道、建設、および各産業セクターでの防振、<br>軌道、構造体、機械、および技術機器の搭載。                 |

## ■ Getzner Werkstoffe GmbH

Getzner Werkstoffeは振動絶縁分野におけるトップ専門企業の1つで、Getzner, Mutter & Cieの子会社として1969年に設立された。このソリューションの基礎となる材料はSylomer®およびSylodyn®で、いずれもオーストリアのビュルスで開発・製造された。これらは鉄道、建設、および工業部門で使用されている。同社は自社製品を世界中で販売している。日本法人は、日本ゲッツナー株式会社。

(本記事は、Getzner Werkstoffe GmbHの代理店、Hagen PRによる2014年9月11日付のプレスリリースを元に編集部で作成しました。)